

# 二神通信

## 校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校  
学校通信 第15号  
令和1年6月7日(金)  
文責 校長 阿部 幸士

～ 体育祭を見事にやりとげ、次のステップへ進もうとする二中生～  
～ 確かな絆、本当につながりあった仲間、そして頑張れる自分をつくりあげていくために、  
二中生は、目の前の大切なことに一つ一つ向き合い取り組んでいきます～

《5/31(金)、6/3(月)には、二中生の授業への取組姿勢を見ていただける機会がありました》  
◇5/31(金)は学校運営協議会委員の皆様方に授業を見ていただきました



◇6/3(月)は大分教育事務所の学校訪問があり、授業を見ていただきました



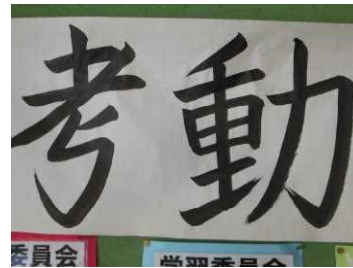
毎日の授業は、学校生活の中心であり命です。  
二中生は、今、毎日の授業にどんな姿勢でどんな気持ちで臨んでいるでしょうか。  
もちろん、人それぞれに違いがあるのは当然ですから、一人ひとりに得意な教科や苦手な教科がある  
だろうと思います。でも、苦手な教科だからといって、その授業で手を抜くわけにはいきません。たと  
え苦手なものであっても正面からぶつかる。そんな気持ちが大切です。  
でも、そんな気持ちはどうしたら持てるのでしょうか？  
それはやはり、周りの仲間たちとの励まし合い、支え合い、助け合いが大きな鍵をにぎるのだらうと  
思います。二中生の授業に臨む気持ちを、これからもしっかり見つめていきたいと思います。

◇6/5(水)の全校朝会で遠藤先生が話されたことをうけて

《第二中学校の環境の中には、二中生が気持ちを込めて制作した作品、二中生の頑張りとその思いを記  
録した写真、二中生のことを思って用意された大切な道具などがいくつもあります。  
これらが、変なあつかいをされることなく、元のままの姿で掲示され続ける・使われ続けることこそ  
が、二中生の確かな絆、本当につながりあった仲間の証(あかし)です》



2年前の卒業生の  
卒業製作です。  
卒業生の思いがこ  
もった作品です。  
銅板の一部が少し  
はがれた所をあたっ  
てしまうと、はがれ  
方がだんだん大き  
くなってしまいます。



卒業制作の作  
品の並びには、  
生徒会のスロ  
ーガン「考動」が  
大きく掲示され  
ています。  
「考えて動く」  
とても大切なこ  
とです。



体育祭をやりとげたときの達成感や満足感、体  
育祭までの取り組みをとおして少しずつ強くなっ  
てきた仲間とのつながり等、二中生が得ることが  
できた「大切な心の栄養」を思い出させてくれる  
写真が校内に掲示されています。  
大切に残したい写真です。



これから雨の季節です。自転車置き場から校  
舎玄関までの間で、雨にぬれて来ることがない  
ようにするため、「みんなのための傘」が設置さ  
れました。  
今年度だけでなく、来年度もその次の年度も  
と、ずっと大事に使いたい傘です。